

小児歯科

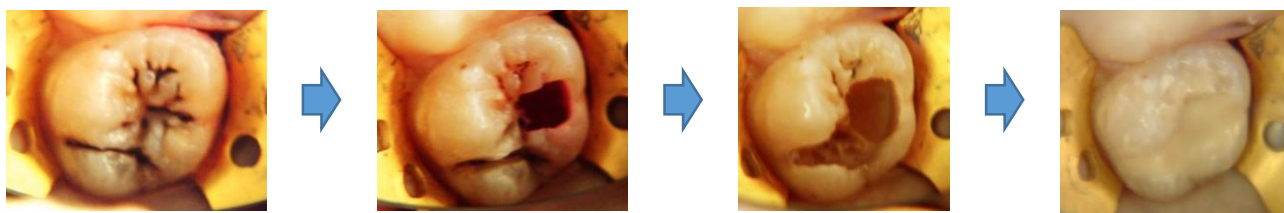
～むし歯・予防編～

お子さんの歯の特徴として、乳歯と生えたばかりの永久歯は歯の質が柔らかいためむし歯になりやすく、また進みやすい特徴があります。



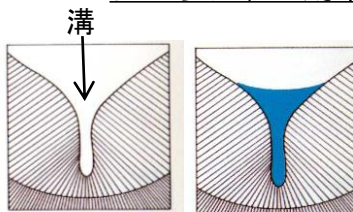
初期う蝕

むし歯のなり始めは初期う蝕と呼ばれています。
この段階ではブラッシングやフッ化物の塗布などでむし歯の進行を止めることも可能です。



奥歯の溝にある黒いむし歯は深くて大きいむし歯でした。
フッ素の入った材料で詰め物をしています。

このようなむし歯を予防するには・・・ シーラントが効果的です！



シーラントは歯の溝を人工的な材料で埋めて溝の奥に歯垢がたまりにくくするものです。

むし歯を予防するには保護者の方やご家族の方の御協力が必要です。
小学校低学年までは十分に手を動かすことが出来ないで、仕上げ磨きが必要です。
年齢や生活の変化、歯の生え変わりによってむし歯になりやすい場所が変わります。
磨いているつもりでも磨けていないこともありますので、定期的な検診をお勧めします。

障がいや全身疾患をお持ちのお子さん、歯科恐怖が強いお子さんの治療に関しては事前にカンファレンスを行い
衛生士、看護師、小児歯科専門歯科医師の介助のもと
安全な治療を行うよう心掛けております。



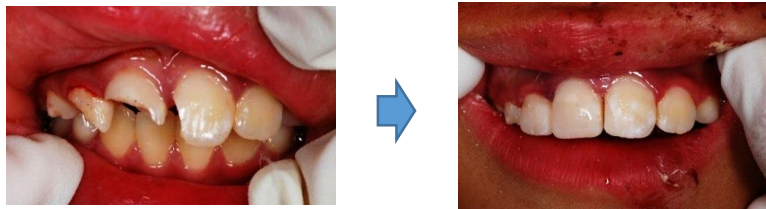
小児歯科外来 診察時間：月～金
☎ 086-235-6717
初診 8:30～11:00
再来（予約制）8:30～11:30, 13:00～15:30

小児歯科

～外傷編～

① 歯の破折

割れた部分を消毒して神経を保護する薬を入れて詰め物をします。



② 歯の失活

打ってしばらくして歯の色が黒っぽくなってきたり、歯茎が腫れてきたりする場合は神経の治療（根管治療）が必要になる場合もあります。



③ 歯の脱臼

脱落してしまった歯をもとに戻して針金で他の歯に取り付けて安静を保ちます。約2週間から1か月ではずします。



脱落した歯



外傷を起しやすい年齢は1～3歳と7～9歳が多く、原因は様々です。脱落した歯は乾燥させず、専用の保存液や生理的食塩水、牛乳などに漬けて持参して下さい。また治療した後も歯の状態に合わせた治療が必要な場合がありますので定期的な検診をお勧めします。

障がいや全身疾患をお持ちのお子さん、歯科恐怖が強いお子さんの治療に関しては事前にカンファレンスを行い、必ず、衛生士、看護師、小児歯科専門歯科医師の介助のもと、安全な治療を行うよう心掛けております。

小児歯科外来 診察時間：月～金

☎ 086-235-6717

初診 8:30～11:00

再来（予約制）8:30～11:30, 13:00～15:30



岡山大学病院

OKAYAMA UNIVERSITY HOSPITAL



OKAYAMA
UNIVERSITY